

美術研究所報

昭和五十六年度(第五回) 文化財保存修復に関する研究のための国際研究集会

昭和五十六年度(第五回)本研究所主催の表記国際研究集会は美術部・情報資料部の担当により「東アジアにおける美術交流」をテーマとして左の通り行った。

期間 昭和五十六年十月六日～十月九日

会場 国立社会教育研修所

十月六日 第I部会(午後) 司会 秋山光和、秦 弘燮

1 F・ベルチェ(パリ第三大学) 中国・韓国・日本における半跏思惟像

2 久野 健(情報資料部) 東アジアの仏像と偏形

3 松原 三郎(実践女子大学) 隋造像様式の成立とその東漸

十月七日 第II部会(午前) 司会 松原三郎、R・スタンリー・ベーカー

1 K・リプリー(ギメー美術館) 漢より唐に至る信仰儀礼用染織品の考察

2 上野 アキ(情報資料部) 7・8世紀を中心とする婦人像の展開

3 秦 弘燮(梨花女子大学校) 新羅時代の石窟寺院について

第III部会(午後) 司会 J・ローゼンフィールド、安輝濬

1 川上 涇(美術部) 歴代名画記と正倉院絵画

2 秋山 光和(学習院大学) 奈良時代の山水表現と唐朝絵画―法華堂根本曼陀羅を中心―

3 L・レダローゼ(ハイデルベルグ大学) 中国・日本の「蓬萊」と「浄土」

4 柳沢 孝(美術部) 東寺西院両界曼荼羅の様式的検討―特に晩唐絵画との

関連―

十月八日 第IV部会(午前) 司会 西川杏太郎、K・リプリー

1 江上 綏(情報資料部) 西本願寺本三十六人集における宋美術からの触発

2 J・ローゼンフィールド(ハーバード大学) 俊乗坊重源―彫刻における日中

混合様式―

3 宮 次男(美術部) 極東の法華経見返絵―特に宋版法華経を中心にして―

第V部会(午後) 司会 島田修二郎、L・レダローゼ

1 H・プリンカー(リートベルグ美術館) 頂相―中国及び日本の禪宗肖像画―

2 海老根 聡郎(東京芸術大学) 呂洞賓といわれる画像について―図様の変

貌―

3 R・スタンリー・ベーカー(国立台湾大学) 15世紀後半日本水墨画における

新動向

4 安 輝濬(弘益大学校) 李朝山水画における中国影響

十月九日 第VI部会(午前) 司会 北村哲郎、H・プリンカー

1 神谷 榮子(美術部) 中世から近世初期の中国渡来染織品とその影響

2 小林 忠(東京国立博物館) 伊藤若冲独創の一描法について

3 J・ケーヒル(カリフォルニア大学) 与謝蕪村と中国絵画

総合討議(午後) 司会 米沢嘉圃、J・ケーヒル、川上 涇、久野 健

研究会 昭和五十六年

七月二十二日 岩佐又兵衛筆豊国祭礼図・風俗画における主題と変奏

鈴木 廣之

七月二十九日 明治二十年代の洋画「武者試鶺鴒」について

陰里 鉄郎

九月十六日 歴代名画記と正倉院絵画

川上 涇

九月三十日 極東法華経見返し絵―特に宋版法華経を中心にして―

宮 次男